

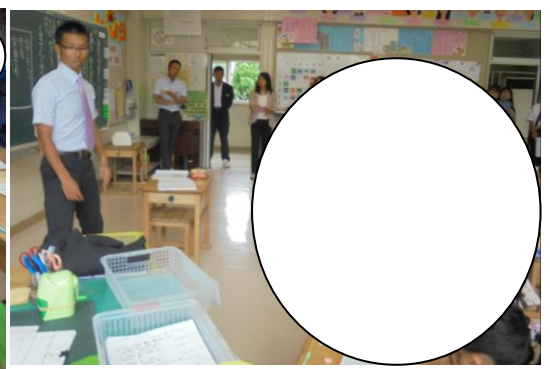
けんしゅうしましよ

4号

H28. 7. 12
文責 草野

道徳 主題名 はたらくことのよさをかんじて
中心内容項目 C 主として集団や社会との関わりに関する
こと（勤労・公共の精神）
資料名 森のゆうびん屋さん（わたしたちの道徳）
2の1 松木学級

7月4日（月）2校時、2の1において道徳の授業が行われました。今回は、指導主事訪問の特設授業でした。支持的風土があり、子どもたちがのびのびと自分の考えを発表し深め合う授業でした。



授業後の話合いより

① 価値への意識づけと価値に対するみとりは適切であったか。

「どんな働きぶり？」という発問は答えるのが難しかった。

「ほめられるためにやっているの？」という問いはなかったが、子どもたちには価値に対する意識をもった発言をしていた。「みんなが笑顔にならなかつたらやめるの？」という切り返しは有効だった。

価値に対するみとりはしっかりされていた。発達段階に合わせてよい。切り込んだ発問は高学年でよいのでは。

② 「何について学んだのか」「道徳的価値」を子どもたちがおさえることができていたか。

授業者としては「働きぶり」を聞いたところで方向性が違っているのを感じたので、子どもの意見を大切にしながらも「一生懸命」「達成感」につなげるようにした。広げるポイントがしっかりおさえられていた。

「明日どんなふう to 働く？」という発問がくまさんと重なった。指導と発問のうまさが見えなかった。

アンケートではほとんど「ほめられたいから」という意見が多かったが、最後の児童のノートを見ると新しい働くことのよさを見つけていたと思う。

③ 「授業全体の流れ」「時間配分」等は適切であったか。

教材文から自分ごとに入るのがスムーズだった。話し合っているうちに自分のことにつながっていた。

時間配分は自己評価が少しはみ出したが、ほぼおさまっていた。

④ その他

- 自己評価～低学年は①発表ができたか？②考えを深められたか？③心に響いた人（印象に残った友達）の3項目
高学年は①挙手の回数 ②考えを深められたか？ ③印象に残った友達の3項目
- 自分の考えを素直に表現したり、友達の考えに「いいね！」や拍手が起こったりする支持的風土のある学級経営が素晴らしかった。
- 板書の構造が素晴らしい。
- 家族からの手紙は家庭でがんばっている姿、川崎先生からの手紙は学校でがんばっている姿が見られ、両方あると更に授業のねらいにつながっていったのではないかな。

助言者より

帯広市教育委員会 学校教育指導室 森田泰成 指導主事より

- ・学級経営が素晴らしい。学級のみならず一緒に考えつながっていく授業であった。
- ・スマイリング8の「ねらいはすっきり」「自己を見つめる～書くタイム～」「自己との対話」がしっかりできていた。
- ・「働くこのよさ」「働きぶり」は発達段階に合わせた発問で、「困ったな～」の子どもの声は周囲と話して理解させるということもある。
- ・指導案の「本時の評価指標」が良い。自分のこととして受け止めているかということが大切。いつ・誰でも評価結果が変わらないことが大切である。
- ・単元ユニットは1年間だけでなく2年間、4年間、6年間、中学校までくるなど、子どもたちを広い視野で見取っていくことが大切である。

十勝教育委員義務教育指導班 大月さゆり 指導主事より

- ・1年間で大きく成長していると感じた。子どもたちの素敵な発言が多かった。
- ・道徳の授業で大切なことは価値の自覚と把握である。①価値理解 ②人間理解 ③他者理解
- ・見通しとふり返りについて
見通し …「～を考えます」とルールづけるのではなく、「～について考えてみない?」「みんなだったらどう考える?」と言った言葉で。
- ・**ふり返り**…態度やノートで理解ができていたか。
- ・道徳ノートの改訂～HPに出ている。

帯広市教育委員会 松村正仁 学校指導担当企画監より

- ・自分ごととしてしているつぶやきがあり、学習に対する姿勢が良い。松木先生もつぶやきをしっかり拾っている。
- ・帯広小学校の研究…「発達段階に合わせた価値への意識づけ」「自己評価のあり方」「主発問の明確さ」「道徳ノートの作り方」などを今後も発信して行ってほしい。
- ・「1～6年生の成長」「学びの足跡の掲示」「保護者を巻き込んで取り組んでいる姿」が見られた。

校長より

2年間見てもらった指導と助言を活かし、みんなができる研究を進めていきたい。

提案授業をしてくださった松木先生、ありがとうございました。

今後は9月の教育研究発表会に向けて、夏休みを活用しながら指導案検討を進めていく予定です。

よろしくお祈りします。

